

アイリス

精神保健福祉士 千丸智代さん
臨床心理士 臼井卓也さん



実習で、新しい自分に気付くことができる

私たちは、障害者の就労や生活支援の相談を受けています。職場実習も行っています。精神障害の方にとって実習のなかで新しい体験をすることは、本人の自信になり、大事な体験です。そこから自分の適性を見つめ直すこともできます。

面接に何度も落ちながらも事務職にこだ

わっていた方に、別の業種の実習をお勧めしました。初めてチャレンジする業種でもうまくいき、ご本人も自分の新しい一面に気付いてくださいました。少し後押しすることで、本来持っておられる力をうまく発揮できることがあるんですね。

10分の同行が、支援になることもある

統合失調症で1ヵ月休職し、復帰後また行けなくなってしまったという方がおられました。会社と相談して、労働時間を短縮しても

らったのですが、それでもなかなか会社に行けないということで、駅で待ち合わせて、10分ほど歩いて会社に同行するという支援をし

ました。目標はまず会社に行くこと。それだけのことなのですが、私たちが待っていると、少し勇気がでて、来ていただけます。SST※での訓練もしました。一人で悩ま

ずに、困ったことを上司にどのように相談するのか、というのを脚本を書いて練習します。その結果、今は問題なく働いていらっしゃいます。

※ソーシャル・スキルズ・トレーニングの略。社会生活技能訓練などと訳されています。自分の考えや気持ち、相手に対する要求などをもっとうまく伝えられるように、また実生活で悩んだり困難を感じていることを、実際に演じながら練習していくことです。

不安要素を取り除くことで、能力が発揮できる

アイリスには「ピオニー」という就労移行支援施設を併設しています。目指しているのは、単に与えられた仕事をするだけでなく、自分から気付いて発信し、提案できる力をつけることです。能力はあるけれど、経験不足から失敗することを恐れて、力を発揮できない方が多いようです。ラミネート加工などやったことのないことでも身近な事務作業

からどんどん経験して、「やります」といえる人材を育てていきたいです。もともと高い能力を持っていながら、持っている力が病気や薬で鈍っているだけという方が多いので、経験を積んで対人関係なども練習をし、力を発揮できるようにすることが、私たち支援者の役割だと思います。

しょうがい者就業・生活支援センター アイリス

障害者の就職に関する相談や職場定着支援を行う。当施設の利用者の半数が精神障害の方。すぐに就職する人もいれば、相談にくること自体が社会との初めての接点という人も。就職だけではなく、生活面の相談に広がることも多い。福祉就労の見学に行くことや、通所施設を探すこともある。(アイリスは各障害保健福祉圏域ごとに設置されている「障害者就業・生活支援センター」のひとつです。)

連絡先

一般財団法人長岡記念財団
しょうがい者就業・生活支援センターアイリス

〒617-0833 京都府長岡京市神足2丁目3番1号
(バンビオ1番館7階)
TEL(075)952-5180
(075)952-5190(相談専用)
FAX(075)952-5175

【障害者就業・生活支援センター一覧】

圏域	名称	電話
丹後	こまち	0772-68-0005
中丹	わかば	0773-63-2130
南丹	なんたん	0771-24-2181
京都市サブ	京都	075-702-3725
京都市サブ	はあふるアイリス	075-682-8911
乙訓サブ	アイリス	同左
山城北	はびねす	0774-41-2661
山城南	「あん」	0774-71-0701